

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DOC）	事務事業名	No. 531202 準用河川改修事業						主管課名	都市整備課		
	この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境					課長名	野々山久照		
		施策	緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち								
		基本事業	準用河川の整備								
	(1)事業の概要										
	河川改修事業 準用河川砂後川 準用河川茶屋川 事務費 旅費、需用費						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)				
							名 称		単位		
							改修延長		m		
							その指標				
	(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		測量業務委託	実施設計業務委託	工事費積算	工事発注	現場監督	完了検査	支払い業務		
26年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)					
準用河川						名 称		単位			
						河川改修計画延長		m			
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)					
地域環境と調和のとれた河川にする						名 称		単位			
						河川改修済み延長		m			
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)					
多自然型により河川整備を行う						名 称		単位			
						準用河川の整備延長		m			
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
(5)の活動指標		m	34	130	50	170	160	260			
(6)の対象指標		m	4,155	4,155	4,155	4,155	4,155	4,155			
(7)の成果指標		m	2,443	2,573	2,623	2,793	2,953	3,213			
(8)の結果の成果指標		m	4,593	4,723	4,773	4,943	5,103	5,363			
(10)予算費目	会計	01 一般会計					款	08	項	03	目 01
(11)コスト	年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
事業費 (決算又は予算額)	単位	89,970	114,436	21,316	267,919	376,916	412,216				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	16,200	5,700	52,000	41,000 52,000				
	県支出金	千円	24,000	21,000	0	28,000	83,000 79,000				
	地方債	千円	0	0	10,200	144,000	223,200 235,800				
	その他	千円	0	0	0	13,003	11,800 26,300				
	一般財源	千円	65,970	77,236	5,416	30,916	17,916 19,116				
人件費 B	千円	3,485	3,426	3,426	3,426	3,426	3,426 3,426				
	正職員従事時間×人数	時間×人	185 × 5	231 × 4	231 × 4	231 × 4	231 × 4 231 × 4				
	正職員以外の人件費	千円									
その他費用 C	千円	140	184								
トータルコスト A+B+C	千円	93,595	118,046	24,742	271,345	380,342	415,642				
単位あたりコスト (トータルコスト / (6)の対象指標)	千円/ m	23	28	6	65	92	100				
	千円/										
	千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	531202 準用河川改修事業			
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？		
	昭和58年 から			三好中部特定土地区画整理事業に合わせた事業計画を実施するため、依存財源の確保が必要である。		
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？					
河川の氾濫により住宅への浸水被害が発生したため、そうした災害を防ぐために開始した。						
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？						
変化していない						
変化している			国庫補助金が削減されてきた			

3 評価(SEE) 目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	
		自治事務	→	根拠法令	河川法
				この事務を行う根拠又は理由	住民を災害から守るために河川管理者としての責務である。
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由	
		結びつかない	→		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容	
		できない	→		
				拡大	
				縮小	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容	
	できない	→			
			追加		
			拡充		
			絞込み		
(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由又は内容		
	多少影響がある	→			
	影響はない	→			
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	用地取得が必要な事業であり事業費が高く改修に時間がかかる。	
1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できない	→			
(7)類似又は関連する事業はありませんか？また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある	→	類似事業名	ある → 内容	
	ない	→			類似事業との再編の可能性
			庁内事業		
			庁外事業		
(8)現在の成果水準のまま事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容		
	ない	→			
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容		
	ない	→			
(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容		
	ない	→			
					現状で適正
			検討が必要		
			受益者がいない		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	増加	事業費の方向性	増額	成果の方向性	向上
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	三好中部区画整理事業に合わせ整備することにより、早期に浸水被害の縮小を図る。					